

平成24年度中野区教育ビジョン(第2次)重点課題実績報告及び成果指標について

1 確かな学力の定着	1
2 健康の増進と体力の向上	2
3 豊かな心の育成	4
4 特別な支援が必要な子どもへの対応	5
5 幼児期からの継続的・発展的な教育の推進	7
6 地域・家庭・学校の連携	9
7 学校再編	10
8 学習やスポーツを通じた社会参加	12
9 学びと自立を支える新しい図書館づくり	14
10 区の歴史文化・伝統文化の継承と発展	16
11 安全と環境に配慮した学校施設整備	17
12 学校の情報化推進	19
【参考】目標ごとの成果指標一覧	20

重点課題進行管理項目	1 確かな学力の定着	担当	学校教育分野指導室 学校・地域連携分野次世代育成担当
------------	------------	----	-------------------------------

■重点推進事業の実施内容等

重点推進事業名	23 年度での成果、次年度以降に向けた改善点等	24 年度 実施内容・実績	成果、来年度以降に向けた改善点等
家庭学習習慣化の「てびき」の作成	・「家庭学習の手引」を作成し、活用する。	・「家庭学習の手引」を作成し、全家庭に配布した。(小学校 7,065 部、中学校 3,070 部)	・学力向上検討委員会における「中野区学力にかかわる調査」の分析結果をもとに、授業改善のポイントを示すとともに、家庭学習のポイントについても検討する。
若手教員育成を柱とした研修(OJT)の仕組みづくり	・若手教員育成研修要綱を検討し、策定する。	・東京都のOJT推進モデル校として塔山小学校が指定を受け、実践的なOJT推進について研究し、2月に取組の報告を行った。	・OJT推進モデル校の指定を受け、取組事例から、具体的な方策を各学校に周知するとともに、管理職研修等でOJTをテーマにした演習を行う。
学校支援ボランティア制度の導入	<ul style="list-style-type: none"> ・学校とコーディネーターの連携強化(学校支援会議の開催など) ・団体登録制度の創設(平成 24 年 4 月 20 日施行) ・登録ボランティアの活用 ・PRの充実(活動事例の紹介など) ・ボランティアの供給と学校の需要を結び付けるシステムづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・登録ボランティア数(平成 25 年 3 月 31 日現在) (個人) 247 人 (団体) 8 団体 ・平成 24 年度活動実績(未登録者数含む) 延べ活動人数 13,793 人 ・学校支援会議の開催実績 11 中学校区ごと各 1 回(延べ 11 回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校とコーディネーターの連携強化 ・学校のニーズを把握し、ボランティアの活動の機会を増やす。 ・コーディネーター役を担う次世代育成委員の研修等によるスキルアップを図る。 ・PRの充実(活動事例の紹介など)

■成果指標

(22～25 年度は実績値)

成果指標	指標理由	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度 (5 年後の 目標値)
「家で自分で計画を立てて勉強をしている」と答えた児童・生徒の割合【目標Ⅲ】	幼児期に適切な教育を受けていることを示すため	小 62.4% 中 43.6%	—	—		小 65% 中 60%
児童・生徒の学力調査の結果※【目標Ⅲ】	子どもたちの学力の状況を示すため	53.6%	54.7%	53.5%		65%

重点課題進行管理項目	2 健康の増進と体力の向上	担当	学校教育分野指導室 学習スポーツ分野スポーツ担当 学校・地域連携分野地域施設運営担当 保育園・幼稚園分野就学前教育連携担当
------------	---------------	----	--

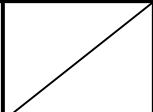
■重点推進事業の実施内容等

重点推進事業名	23 年度での成果、次年度以降に向けた改善点等	24 年度 実施内容・実績	成果、来年度以降に向けた改善点等
中野スタンダード達成のための取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育向上事業等による研究の推進を図る。 ・重点項目の抽出と対策の検討を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育向上事業等による研究の推進を図り、研究発表会を実施した。 ・重点項目の抽出と対策の検討を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育向上事業等による研究の推進を図り、研究発表会を実施する。 ・伝承遊び等を紹介した「運動遊び事例集」を作成し、外遊びを奨励する。
体力向上プログラムの改訂と授業モデルの作成	<ul style="list-style-type: none"> ・区全体での体力向上施策と関連した体力向上プログラムの策定を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校が、区全体での体力向上施策と関連した体力向上プログラムを策定し、それに基づいた取組を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校が、区全体での体力向上施策と関連した体力向上プログラムを策定する。 ・体力向上に向けた、「1 校 1 取組」を明示し、実践する。
地域スポーツクラブの運営・拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・「キックオフイベント」の延参加者数は、基調講演 131 名、パドルテニス教室 53 名、トリム体操教室 57 名、グラウンドゴルフ教室 47 名、フットサル 39 名。 ・今後は、モデル事業を行いながら、任意団体「中野区地域スポーツクラブ」とともに地域スポーツクラブ開設時の事業運営内容について検討していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年度の本格実施における運営方法の参考とするため、健康づくり・スポーツ推進モデル事業を行った。 *団体参加型モデル事業： 体育館延 1,609 人、屋外運動広場延 1,604 人（計 3,213 人） *健康・スポーツ教室型モデル事業： 第 1 期 3 種延 118 人、第 2 期 30 種延 940 人（計 1,058 人） ・任意団体「中野区地域スポーツクラブ」に、モデル事業や検討状況の報告を行い、今後の方向性を確認した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現地での受付や団体参加型モデル事業の夜間枠新設、トレーニングマシン設置などを行い、スポーツ・運動環境を向上する。 ・平成 26 年度本格実施に向け、施設管理や事業運営等のスキームづくりを行う。
小学校へのキッズ・プラザの設置	<ul style="list-style-type: none"> ・学校再編にあわせて、整備の考え方を整理する。 ・生涯学習館跡施設などへの整備について検討を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 25 年度開設予定のキッズ・プラザ谷戸の開設準備を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 25 年度に実施する学校施設調査の結果に基づき、整備計画を作成する。

<p>幼稚園・保育園等での指導との連続性を重視した体力づくりの取組の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保幼小連絡協議会の充実を図る。 ・体力向上施策の検討、実施を行う。 ・学校教育向上事業の研究成果の周知と検証を実施する。 ・「運動遊びプログラム」を保育に取り入れている保育園幼稚園 30 園 ・「運動遊びプログラム第 2 版」を作成し、体力づくりの取組を重視した小学校との連携をすすめていく。 ・「運動遊びプログラム第 2 版」の普及活動を進めるとともに、更に効果の検証も行っていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・「運動遊びプログラム」の普及活動と効果の検証 保育に活用している園 33 園 ・「運動遊びプログラム第 2 版」を作成 説明会開催 2 回 延べ参加者 90 名 	<ul style="list-style-type: none"> ・「運動遊びプログラム第 2 版」の普及活動を進める。 ・体力づくりの取組を教育連携の視点として取り上げ、実態調査を行う。
--	---	--	--

■成果指標

(22～25 年度は実績値)

成果指標	指標理由	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度 (5 年後の 目標値)
<p>体力テストで中野区目標(中野スタンダード)を 7 割以上の児童・生徒が達成した種目の割合(小 6、中 3)【目標Ⅳ】</p>	<p>子どもたちの体力が向上しているか示すため</p>	<p>(小 6) 52% (中 3) 61%</p>	<p>(小 6) 62. 5% (中 3) 66. 7%</p>	<p>(小 6) 62. 5% (中 3) 66. 7%</p>		<p>(小 6) 70% (中 3) 70%</p>

平成 24 年度 教育ビジョン(第 2 次) 重点課題実績報告

重点課題進行管理項目	3 豊かな心の育成	担当	学校教育分野指導室 学校・地域連携分野体験学習担当
------------	-----------	----	------------------------------

■重点推進事業の実施内容等

重点推進事業名	23 年度での成果、次年度以降に向けた改善点等	24 年度 実施内容・実績	成果、来年度以降に向けた改善点等
発達段階に応じた体験的活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・移動教室選択制の実施にかかる宿泊費の公費負担の考え方を明らかにする。 ・平成 25 年度選択制の実施に向けての学校との調整を進める。 ・新たな体系に基づく、中学校の冬季移動教室（スキー）の円滑な実施を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・移動教室選択制の宿泊費（賄費は除く）について、保護者の負担軽減を図るため全額公費負担とした。 ・移動教室運営委員会を設置し、選択制の実施場所、体験メニューの検討を行った。 ・中学校の冬季移動教室（スキー）を 9 校が実施し、円滑な運営が図られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 25 年度の選択制実施校として小学校 9 校が決定した。26 年度以降の実施校の増加を図る。 ・平成 25 年度の中学校冬季移動教室の実施校が 10 校に増加した。
中学生の保育体験の全校実施	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校在学中に全生徒が保育体験ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全中学校で、保育体験を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全中学校で、保育体験を実施する。
教育相談体制の整備・適応指導教室の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・適応指導教室連絡会を実施し、適応指導教室と学校の連携を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談研修（不登校研修）会を各校悉皆で実施し、学校との連携を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談研修（不登校研修）会を各校悉皆で実施する。事例検討会等、内容を吟味し、実践的な研修会とする。

■成果指標

(22～25 年度は実績値)

成果指標	指標理由	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度 (5 年後の目標値)
「自分には、よいところがある」と答えた児童・生徒の割合【目標 V】	子どもたちの自己有用感が培われているかを示すため	小 72.5% 中 56.8%	-	-		小 75% 中 65%
不登校の児童・生徒が通学復帰をした割合【目標 V】	子どもたちの心の問題への対応がなされていることを示すため	小 27.0% 中 21.6%	小 29.0% 中 23.4%	集計中		小 35% 中 25%

平成 24 年度 教育ビジョン(第 2 次) 重点課題実績報告

重点課題進行管理項目	4 特別な支援が必要な子どもへの対応	担当	学校教育分野指導室/特別支援教育担当 子育て支援分野特別支援教育等連携担当
------------	--------------------	----	--

■重点推進事業の実施内容等

重点推進事業名	23 年度での成果、次年度以降に向けた改善点等	24 年度 実施内容・実績	成果、来年度以降に向けた改善点等
成長過程を通じた一貫した発達支援体制の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期・学齢期支援の検討及び成人期への移行支援について課題整理を行い、共通認識が図れた。 ・申送り、個別支援計画会議等については、開始から 5 年経過し、定着してきたとともに、関係機関の連携が進んできた。 ・申送り等の移行支援を開始した対象児童が 6 年生となるため、中学校入学時の支援内容の引継ぎの実施を要する。 ・個別支援計画作成対象児童の増加等により対象児童の絞込みなど会議運営を精査する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学齢期の支援として、これまで小学 1 年生・4 年生を対象として実施していた個別支援計画会議の対象に 6 年生を加えた。 個別支援計画策定数：219 件 ・小学校入学時にのみ実施していた支援経過の引継ぎ（申送り）を中学校入学時についても実施した。 申送り件数：147 件 [小学校：118 件/中学校 29 件] ・発達障害啓発について、4 月の発達障害啓発週間に区役所及び中野駅ガード下ギャラリーで展示を行うとともに、区民講演会を実施した。 ・新たに小学校高学年から高校生までを対象とした発達相談ハンドブックを作成した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援経過の引継ぎを中学校入学時にも実施することにより、発達に課題のある児童への学校、地域での総合的な支援を進める一歩が可能となった。 ・就学時の申送り及び個別支援計画会議等において類似の資料作成などが見受けられるため、様式の統一化や手順の簡素化など、効率的な運営について検討を行う。
特別支援学級の増設	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 24 年 4 月に、若宮小学校に特別支援学級（情緒障害等）を開設するための整備工事等を行った。 ・特別支援学級（知的障害）への通学の便や地域バランスを考慮して、平成 25 年 4 月に新たに中野神明小学校に開設するための整備工事を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 24 年 4 月に、若宮小学校に特別支援学級（情緒障害等）を開設した。 ・中野神明小学校に特別支援学級（知的障害）を開設するための整備工事や保護者等への説明会を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校特別支援学級（情緒障害等）の増設について検討を行う必要がある。 ・特別支援学級（知的障害）については小中学校とも計画していた学校に設置し、整備計画を終了したので、今後は各学級の教育内容をさらに充実していく。

小中学校への特別支援教室の整備に向けた検討(巡回指導員の養成、教室の整備等)	・「中野区立小中学校における特別支援教育推進のための方針」で示している課題について、東京都の動向を注視しながら、教育委員会事務局としての検討を行っていく。	・「特別支援教育検討会」において、特別支援教室における巡回指導の基本的な考え方の検討を行った。	・巡回指導の具体的な実施方法とモデル事業実施に向けての課題を明らかにしていく。 ・巡回指導について保護者の理解を図っていく。
日本語指導教室の設置	・日本語適応教室と日本語通訳派遣の指導内容の検討を行う。	・日本語適応教室と日本語通訳派遣の指導内容の検討を行った。	・一人ひとりの状況に応じた日本語指導等の充実を図るため、日本語適応教室を廃止し、日本語指導員等派遣事業として実施する。

■成果指標

(22～25年度は実績値)

成果指標	指標理由	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度 (5年後の 目標値)
発達の遅れや障害のある子どもが学校入学後も配慮が継続され、学校での生活に満足している保護者の割合	乳幼児期から学齢期への継続的な支援が行われていることを示すため	—	61.0%	64.0%		70.0%
学校は「特別支援教育や発達障害等に関して保護者への説明をおこなっている」と感じている保護者の割合【目標Ⅲ】	特別支援教育の推進が図られているか示すため	小 47.5% 中 48.1%	小 49.0% 中 45.7%	小 54.3% 中 50.9%		小 65% 中 65%

平成 24 年度 教育ビジョン(第 2 次) 重点課題実績報告

重点課題進行管理項目	5 幼児期からの継続的・発展的な教育の推進	担当	学校教育分野指導室 保育園・幼稚園分野就学前教育連携担当
------------	-----------------------	----	---------------------------------

■重点推進事業の実施内容等

重点推進事業名	23 年度での成果、次年度以降に向けた改善点等	24 年度 実施内容・実績	成果、来年度以降に向けた改善点等
幼稚園教諭、保育士、小学校教諭等の合同研修、訪問研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園・保育園の職員合同の研修を実施することにより、中野の子どもへの課題の解決に向けて一緒に取り組む機会になっている。 ・ 実践をふまえながら、保幼小合同研修会の実施を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 合同研究会（研究報告会など）を実施した。 開催回数 4 回 延べ参加人数 223 名 ・ 幼児研究センター合同研究「幼児期の教育」を実施した。 参加：区内幼稚園教諭、保育園保育士計 14 名 開催回数：年間 10 回 ・ 保育園職員実務研修として、保育園職員が区立幼稚園にて実習を 2 日間行った。 参加保育園保育士延べ 38 人 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中野の子どもへの課題の解決に向けて一緒に取り組むため、幼稚園・保育園の職員合同の研修を実施していく。 ・ 実践を踏まえながら、保幼小合同研修会だけでなく小学校教諭も含めた合同研修会の実施を検討していく。
幼児教育から義務教育への円滑な接続を図るための保育・指導プログラム等の作成(保育士や幼稚園教諭、小学校教諭の連携による作成)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 24 年 10 月末を目途に「中野区就学前教育プログラム」を策定する。 ・ 教育連携検討会において、保幼小連絡協議会を含め、幼保と小学校の連携の在り方について検討していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保幼小代表者からなる教育連携検討会において検討し、「中野区就学前教育プログラム」を策定し、説明会を実施した。 ・ 保幼小連絡協議会を実施した。 参加園（校）：公私立保育園・区立幼稚園全園、私立幼稚園 23 園、区立小学校全校 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「中野区就学前教育プログラム」の周知、活用を図る。 ・ 教育連携検討会において保幼小連絡協議会を含め、幼保と小学校の連携の在り方について検討していく。
幼保と小、小と中の連携教育の標準的方法の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼保小、小中連携教育の指導方法の検討を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼保小、小中連携教育の協議会を開催し、指導方法等について意見交換を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼保小、小中連携教育の指導方法の検討を行う。
連携教育モデル校の指定及び拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校教育向上事業の研究推進及び研究成果の周知を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校教育向上事業の研究成果の周知を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校教育向上事業の研究推進を図る。

一部教科での小中一貫カリキュラムの作成に向けた課題整理	・小中接続時におけるカリキュラム案を作成し、実施検証を行う。	・「小中連携教育のあり方」をまとめ、推進方針を示した。	・「小中連携教育のあり方」の移行期の取組を円滑に実施する。
-----------------------------	--------------------------------	-----------------------------	-------------------------------

■成果指標

(22～25年度は実績値)

成果指標	指標理由	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度 (5年後の 目標値)
幼児の発達をとらえた意図的・計画的な指導を行っていると感じている保護者の割合（区立幼稚園）【目標Ⅰ】	幼児の発達の特徴をとらえ、継続的・発展的な保育が行われてるかを示すため	95.7%	97.0%	94.0%		99.0%

平成 24 年度 教育ビジョン(第 2 次) 重点課題実績報告

重点課題進行管理項目	6 地域・家庭・学校の連携	担当	学校・地域連携分野次世代育成担当 学校教育分野指導室
------------	---------------	----	-------------------------------

■重点推進事業の実施内容等

重点推進事業名	23 年度での成果、次年度以降に向けた改善点等	24 年度 実施内容・実績	成果、来年度以降に向けた改善点等
学校支援ボランティアなど地域の人材活用の基礎づくりや支援体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> 学校とコーディネーターの連携強化 (学校支援会議の開催など) 団体登録制度の創設 (平成 24 年 4 月 20 日施行) 登録ボランティアの活用 PR の充実 (活動事例の紹介など) ボランティアの供給と学校の需要を結び付けるシステムづくり 	<ul style="list-style-type: none"> 登録ボランティア数(平成 25 年 3 月 31 日現在) (個人) 247 人 (団体) 8 団体 平成 24 年度活動実績(未登録者数含む) 延べ活動人数 13,793 人 学校支援会議の開催実績 11 中学校区ごと各 1 回(延べ 11 回) 	<ul style="list-style-type: none"> 学校とコーディネーターの連携強化 学校のニーズを把握し、ボランティアの活動の機会を増やす。 コーディネーター役を担う次世代育成委員の研修等によるスキルアップを図る。 PR の充実(活動事例の紹介など)
第三者による学校評価を盛り込んだ新しい学校評価の仕組みの構築	<ul style="list-style-type: none"> 第三者評価についてモデル実施を行い、第三者評価のあり方を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 第三者評価について小・中学校各 1 校でモデル実施を行い、課題を検討した。 	<ul style="list-style-type: none"> 第三者評価について 3 校で試行し、課題を検討する。

■成果指標

(22～25 年度は実績値)

成果指標	指標理由	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度 (5 年後の 目標値)
「学校は、保護者や地域の方の意見や要望を受け止め、学校改善に生かそうとしている」と感じている保護者の割合(小・中)	地域や家庭と連携した学校づくりが進んでいることを示すため	小 73.9% 中 68.5%	小 72.1% 中 67.1%	小 71.6% 中 68.5%		小 75.0% 中 70.0%

重点課題進行管理項目	7 学校再編	担当	子ども教育経営分野学校再編担当
------------	--------	----	-----------------

■重点推進事業の実施内容等

重点推進事業名	23 年度での成果、次年度以降に向けた改善点等	24 年度 実施内容・実績	成果、来年度以降に向けた改善点等
「中野区立小中学校再編計画」に基づく学校再編の実施	<ul style="list-style-type: none"> 学校統合委員会での協議が順調に進められ、円滑な学校再編ができた。 学校統合に伴う施設改修工事は、学校運営に支障をきたさないように進めていく必要がある。 学校統合委員会を早期に立ち上げ、改修工事などについての意見を取りまとめていくとともに、保護者等へは適時適切な情報提供を行っていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成 24 年 4 月の中野中学校の開校によって「中野区立小中学校再編計画」に基づく前期の学校再編は完了した。 学校統合に伴う施設改修工事や新校舎の建設工事など、学校施設や設備の充実に向けて取り組んだ。 	<p>(前期再編計画は実施終了)</p>
学校再編の中後期計画化と実施	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な考え方に基づき、具体的な学校再編計画の改定に向け、教育委員会で協議を進めていく必要がある。 学校再編計画を改定するにあたり、区の財政状況や避難所機能など関係部署との調整をしていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 中野区立小中学校再編計画改定における基本的な考え方に基づき、学校再編計画の改定に向け協議を進め、「中野区立小中学校再編計画(第 2 次)」を策定した。 計画の策定に当たり、学校跡地の活用や避難所機能などに関して意見・要望等が寄せられ、関係する部署との調整を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設調査の結果を受け、学校再編計画(第 2 次)で示した統合と通学区域変更の具体的な時期を定めるとともに、計画の周知を図っていく必要がある。 円滑な再編のための取組についての検討や学校統合委員会の設置準備などを進める必要がある。 学校再編は、学校跡地の活用や避難所機能の確保など他の施策にも大きな影響があるため、関係部署と連携を密にする必要がある。

■成果指標

(22～25年度は実績値)

成果指標	指標理由	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度 (5年後の 目標値)
子どものよさをのばす教育がなされていると感じる保護者の割合（小学校）（中学校）	魅力ある学校づくりが進められていることを示すため	小 70.0% 中 61.9%	小 69.2% 中 62.6%	小 69.6% 中 65.2%		小 74.0% 中 69.0%
小学校は「児童に思いやりや優しい心を育てている」、中学校は「生徒に自他の生命を大切にす る心を育てている」と感じる保護者の割合	集団活動を通した活気あふれる学校運営 がなされていることを示すため	小 78.0% 中 68.0%	小 77.8% 中 67.3%	小 78.4% 中 71.0%		小 84.0% 中 72.0%

平成 24 年度 教育ビジョン(第 2 次) 重点課題実績報告

重点課題進行管理項目	8 学習やスポーツを通じた社会参加	担当	学習スポーツ分野 生涯学習支援担当/生涯学習調整担当/スポーツ担当
------------	-------------------	----	--------------------------------------

■重点推進事業の実施内容等

重点推進事業名	23 年度での成果、次年度以降に向けた改善点等	24 年度 実施内容・実績	成果、来年度以降に向けた改善点等
「なかの生涯学習大学」の実施、卒業生の地域活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・より地域活動を意識した講座内容を組み入れたことにより地域活動参加率が大きく増加した。(震災時期と申込時期が重複したため、申込期間に猶予を設けたが参加実数は減少した。平成 24 年度は回復している。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学びを通して人とつながり、地域活動へとつながっていくことをめざし、各分野の専門家などを講師に迎え、講義、ゼミ、地域学習などを展開している。 第 1 学年 204 人 第 2 学年 112 人 第 3 学年 129 人 各学年とも全 22 回実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域学習と地域行動計画策定などのプログラムの効果が表れ、卒業後 1 年経過した時点での地域活動参加率は 70%となった。 ・受講生の意見も取り入れながらプログラムの見直しを常に進め、一層の地域活動参加促進を図る。
区内外の生涯学習資源(大学等)との連携による生涯学習支援等の検討・構築	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども教育宝仙大学の講演会を初めて後援し、ないせす掲載チラシ配布等、講演会の PR を積極的に行った。 ・実施状況調査により、各区の大学連携の特徴を把握することができた。調査結果を踏まえ、中野区の生涯学習施策に資する大学連携のあり方を構築していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京工芸大学(大学公開講座の PR 協力) ・東洋大学(野球教室の共催、区哲学堂関連講座への大学の協力) ・早稲田大学(中野区・早稲田大学文化交流事業～早大交響楽団コンサートの共催) ・こども教育宝仙大学(大学公開講演会の PR 協力) ・明治大学(大学公開講座の後援、国際日本学部における、大学中野校舎周辺の歴史環境の講義) 	<ul style="list-style-type: none"> ・中野四季の都市にキャンパスを開設した大学等と、区民の生涯学習の機会を広げるための連携を充実させる。
地域スポーツクラブの運営・拡充(再掲)	<ul style="list-style-type: none"> ・「キックオフイベント」の延参加者数は、基調講演 131 名、パドルテニス教室 53 名、トリム体操教室 57 名、グラウンドゴルフ教室 47 名、フットサル 39 名。 ・今後は、モデル事業を行いながら、任意団体「中野区地域スポ 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年度の本格実施における運営方法の参考とするため、健康づくり・スポーツ推進モデル事業を行った。 *団体参加型モデル事業： 体育館延 1,609 人、屋外運動広場延 1,604 人(計 3,213 人) *健康・スポーツ教室型モデル事業： 	<ul style="list-style-type: none"> ・現地での受付や団体参加型モデル事業の夜間枠新設、トレーニングマシン設置などを行い、スポーツ・運動環境を向上する。 ・平成 26 年度本格実施に向け、施設管理や事業運営等のスキームづくりを行う。

	ーツクラブ」とともに地域スポーツクラブ開設時の事業運営内容について検討していく。	第1期3種延118人、第2期30種延940人（計1,058人） ・任意団体「中野区地域スポーツクラブ」に、モデル事業や検討状況の報告を行い、今後の方向性を確認した。	
--	--	---	--

■成果指標

(22～25年度は実績値)

成果指標	指標理由	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度 (5年後の 目標値)
なかの生涯学習大学（平成21年度より実施）卒業後1年以内に地域活動に参加したことがある人の割合【目標VI】	区民の学習活動が、地域での活動へと展開していることを示す目安となるため	45%	60%	70%		64%

平成 24 年度 教育ビジョン(第 2 次) 重点課題実績報告

重点課題進行管理項目	9 学びと自立を支える新しい図書館づくり	担当	知的資産分野図書館運営担当
------------	----------------------	----	---------------

■重点推進事業の実施内容等

重点推進事業名	23 年度での成果、次年度以降に向けた改善点等	24 年度 実施内容・実績	成果、来年度以降に向けた改善点等
どこでも図書館の推進	<ul style="list-style-type: none"> 今後の地域図書館の機能整理と併せて、関連分野との調整や委託業務（図書館業務、メールカー業務等）のあり方など、事業実施に向けた検討を進めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 関連分野と調整の上、どこでも図書館の推進に向けた検討を行った。 J R 中野駅南口ブックポストを券売機横（深夜から早朝まで利用不可）から交番横（24 時間利用可）へ移設し、利便向上を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成 25 年度からの指定管理者制度導入に伴う開館日・開館時間の拡大によって、図書館利用可能時間が大幅に増加した。 利用状況を踏まえ、サービスポイントの拡大について検討していく。
各館の個性ある蔵書構成づくり	<ul style="list-style-type: none"> 各館で行った個性づくり図書は、好評を得ているが、利用者アンケート結果をみると周知不足であることが認められる。 今後、さらなる内容充実を図りながら、区民への周知にも努めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 各館の個性づくりを進める選書と合わせて、工夫した企画展示（2 カ月更新）を実施するとともに、各種広報媒体による PR を行い、利用者の認知度や展示図書利用機会の着実な向上につなげた。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、魅力ある蔵書構成づくりや企画展示の実施など、さらなる内容充実を図りながら、区民への PR に努めていく。
学校図書館の地域利用の推進	<ul style="list-style-type: none"> キッズ・プラザの開設や、学校再編計画による小学校の統合状況などに合わせて、地域バランスを考慮し、検討していく。 	<ul style="list-style-type: none"> キッズ・プラザの開設や、学校再編計画による小学校の統合状況などに合わせ、地域バランスを考慮しながら、検討を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成 25 年度より導入した指定管理者制度のもとで、学校図書館の地域利用の検討を行う。
指定管理者制度導入による利用サービスの拡充	<ul style="list-style-type: none"> 平成 25 年度から全館一斉に指定管理者制度を導入する。その実施に向け、導入に係る評価の仕組みについて、区の基本方針を踏まえて検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成 25 年度からの指定管理者制度導入準備として、規則・要綱・業務マニュアル等の整備や業務引継ぎを綿密に行い、指定管理者による円滑な業務運営へと結びつけた。 	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者制度導入による成果を検証するため、区の指定管理者制度ガイドライン（情報・改善分野が平成 25 年度に策定予定）との整合を図りながら、利用者アンケート等を活用した評価の仕組みを整備していく。

■成果指標

(22～25年度は実績値)

成果指標	指標理由	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度 (5年後の 目標値)
区民一人当たりの年間資料貸出冊数（冊）【目標Ⅵ】	区民の図書館活用状況を示す指標となるため	6.8冊	6.5冊	6.3冊		6.8冊

平成 24 年度 教育ビジョン(第 2 次) 重点課題実績報告

重点課題進行管理項目	10 区の歴史文化・伝統文化の継承と発展	担当	学習スポーツ分野文化財担当
------------	----------------------	----	---------------

■重点推進事業の実施内容等

重点推進事業名	23 年度での成果、次年度以降に向けた改善点等	24 年度 実施内容・実績	成果、来年度以降に向けた改善点等
史跡・景観・文化財を中心とした、「歴史文化ゾーン」の全体構想の策定と区内の代表的な歴史散策路の設定	<ul style="list-style-type: none"> 「東京都指定名勝哲学堂公園保存管理計画」に基づいた整備事業の実施を推進していく。 「歴史文化ゾーン」の重要な要素である建造物の国登録文化財への申請に関して継続して文化庁との連絡調整を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史文化ゾーンの中核となる「東京都指定名勝哲学堂公園」について、平成 23 年度に作成した保存管理計画に基づいた庭内補修計画の検討を道路・公園管理分野と行った。 区内建造物について、国登録文化財への申請に向けて文化庁・東京都との調整を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 哲学堂の庭内補修を行う。 国登録文化財の申請を継続的に行う。 中野の文化資源を生かしルート化する歴史文化ゾーンの考え方は、他の観光資源との相乗効果を図りつつ、区内外のより広範囲の人々から中野の文化財への関心を持ってもらうため、中野区都市観光ビジョンの戦略である「多様なまち歩きルートの開発」の一要素として構成する方向で、関係分野等と協力しつつ検討する。
ICT 技術を活用した文化財の保存と活用	<ul style="list-style-type: none"> 所蔵資料管理システムの具体的な活用を進める。 ホームページ・文化庁文化遺産オンラインへの掲載への周知・広報と活用方法を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 所蔵管理システムの持つ資料検索能力を活用した各展示事業の企画・実施を行った。 区ホームページへの掲載内容を充実した。 	<ul style="list-style-type: none"> さらに区内外の幅広い層に中野の文化財を知ってもらうため、都市観光ホームページなど、広報媒体の積極的活用を図る。

■成果指標

(22～25 年度は実績値)

成果指標	指標理由	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度 (5 年後の 目標値)
文化施設の利用者数【目標Ⅶ】	区民が文化芸術に親しみ、活動をしていることを示すため	1,222,996 人	1,267,374 人	1,275,416 人		1,299,000 人
歴史民俗資料館年間入館者数【目標Ⅶ】	区の歴史民俗や文化財が区民に認識され、親しまれるための取組の成果を示すひとつの目安となるため	32,196 人	36,725 人	36,919 人		37,000 人

平成 24 年度 教育ビジョン(第 2 次) 重点課題実績報告

重点課題進行管理 項目	11 安全と環境に配慮した学校施設整備	担当	子ども教育施設分野子ども教育施設担当
----------------	---------------------	----	--------------------

■重点推進事業の実施内容等

重点推進事業名	23 年度での成果、次年度以降に向けた改善点等	24 年度 実施内容・実績	成果、来年度以降に向けた改善点等
耐震性能ランクBランク*の全学校の校舎体育館耐震補強工事	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震化率が 2.36%向上した。 ・平成 23 年度は谷戸小学校の中央校舎の耐震補強工事を実施するとともに、東校舎の改築工事に着工し、平成 25 年 3 月の完成を目指す。 ・区有施設耐震改修計画改定版が策定されたため、耐震補強未実施の全ての学校について、平成 27 年度までに補強工事を完了する。 ・平成 24 年度は鷺宮小・新井小の校舎及び四中体育館の設計委託を行い平成 25 年度に補強工事を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・谷戸小の東校舎改築（竣工；平成 25 年 3 月） ・平成 25 年度の耐震補強工事に向け、鷺宮小・新井小の校舎及び四中体育館の設計を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・【耐震化率】（各年度 4 月 1 日現在） 平成 24 年度；87.9%→平成 25 年度；88.1% ・鷺宮小・新井小の校舎及び四中体育館の耐震補強工事を平成 25 年度に実施する。 ・区有施設耐震改修計画に基づき、耐震補強未実施の全ての学校について、平成 26 年度末までに補強工事を完了する。 ・平成 25 年度は、桃園小校舎・体育館（重層）、上高田小・向台小・四中校舎及び五中体育館の設計委託を行い、平成 26 年度に補強工事を実施する。
太陽光発電機器の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 23 年度末までの設置済校は、江原小・上鷺宮小・白桜小・桃花小・緑野小の 5 校である。 ・設置計画 平成 24 年度 谷戸小学校 平成 25 年度 中野中学校 ・今後改築工事の中で設置を目指すとともに、地球温暖化対策と自然エネルギーの活用の観点から、設置可能な学校の検討もする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・谷戸小の東校舎の改築にあわせ、校舎屋上に 10kW を設置した。（竣工；平成 25 年 3 月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 24 年度末の設置校は、江原小・上鷺宮小・白桜小・桃花小・緑野小・谷戸小の 6 校である。 ・設置計画 平成 25 年度；中野中学校 ・地球温暖化対策と自然エネルギーの活用の観点から、今年度策定予定の学校施設改築・改修計画の中でそのあり方を検討する。

■成果指標

(22～25年度は実績値)

成果指標	指標理由	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度 (5年後の 目標値)
学校施設整備・維持等に対する保護者の満足度 【目標Ⅷ】	快適な教育環境が整えられているかを示 すため	小 82.9% 中 82.3%	小 82.0% 中 78.7%	小 81.7% 中 79.9%		小 90% 中 87%

(注) 耐震性能ランクBランク

中野区では、耐震性能ランクをA～Dの4段階で示しており、ランクBは「耐震性能は比較的高いランクですが、補強されることをおすすめします」となっています。小中学校についてはBランク未満のものはありませんが、より安全性を確保するために、現在、Bランクの学校については平成26年度末までに補強工事を済ませる予定です。

耐震性能ランク	判定コメント
A	安全だと思えます。
B	耐震性能は比較的高いランクですが、補強されることをおすすめします。
C	補強が必要です。又は精密診断をおすすめします。
D	大規模な補強又は改修が必要だと思えます。

平成 24 年度 教育ビジョン(第 2 次) 重点課題実績報告

重点課題進行管理項目	12 学校の情報化推進	担当	学校教育分野校務管理担当
------------	-------------	----	--------------

■重点推進事業の実施内容等

重点推進事業名	23 年度での成果、次年度以降に向けた改善点等	24 年度 実施内容・実績	成果、来年度以降に向けた改善点等
学校間ネットワークの構築	<ul style="list-style-type: none"> 平成 25 年度に向けて、学校情報化・学校間ネットワーク整備の方針・構築方法・運用及びシステムの調達方法などについて検討を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 市内情報系ネットワークを利用した学校間ネットワークの経費について、平成 25 年度予算要求を行った。 その結果、平成 25 年度末に学校間ネットワークの整備・構築、校務支援システムの導入及び運用方法等の決定をしていくこととした。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校間ネットワーク及び校務支援システム導入後の運用などについて、適宜検討を重ねていく必要がある。

《参考》 目標ごとの成果指標一覧

目標	成果指標	指標とする理由	策定時	実績 (年度)(最新)	26年度	31年度	担当分野
I	幼児の発達をとらえた意図的・計画的な指導を行っていると感じている保護者の割合(区立幼稚園)	幼児期に適切な教育を受けていることを示すため	96.2% (20年度)	94.0% (24年度)	98%	100%	学校教育 (指導室)
II	子どもが「学校生活を楽しく過ごしている」と感じている保護者(小学校)の割合	子どもたちが生き生きと学んでいることを示す目安となるため	94.3% (21年度)	94.1% (24年度)	96%	98%	学校教育 (指導室)
	子どもが「充実した学校生活を送っている」と感じている保護者(中学校)の割合	子どもたちが生き生きと学んでいることを示す目安となるため	87.5% (21年度)	90.2% (24年度)	92%	95%	
III	児童・生徒の学力調査の結果※	子どもたちの学力の状況を示すため	52.4% (22年度)	53.5% (24年度)	65%	70%	学校教育 (指導室)
	「家で自分で計画を立てて勉強をしている」と答えた児童・生徒の割合	子どもたちが主体的に学習に取り組んでいるかを示すため	小学校 59.4% 中学校 44.1% (21年度)	小学校 62.4% 中学校 43.6% (22年度)	小学校 65 % 中学校 60 %	小学校 70% 中学校 65%	学校教育 (指導室)
	学校は「特別支援教育や発達障害等に関して保護者への説明をおこなっている」と感じている保護者の割合	特別支援教育の推進が図られているか示すため	小学校 44.9% 中学校 45.1% (21年度)	小 54.3% 中 50.9% (24年度)	小学校 65 % 中学校 65 %	小学校 70% 中学校 70%	学校教育
IV	中学1年生の希望者に行う生活習慣病健診の結果、指導を要すると判定された生徒の2年後の改善率	子どもたちの基本的な生活習慣が確立し、健康的な生活を送っていることを示すため	33% (22年度)	23% (24年度)	37%	42%	学校教育

IV	体力テストで中野区目標(中野スタンダード)を7割以上の児童・生徒が達成した種目の割合(小6、中3)	子どもたちの体力が向上しているか示すため	小学校6年 52% 中学校3年 61% (22年度)	小学校6年 62.5% 中学校3年 66.7% (24年度)	小学校6年 70% 中学校3年 70%	小学校6年 75% 中学校3年 83%	学校教育 (指導室)
V	不登校の児童・生徒が通学復帰をした割合	子どもたちの心の問題への対応がなされていることを示すため	小学校 32.9% 中学校 21.9% (21年度)	小学校 29.0% 中学校 23.4% (23年度)	小学校 35% 中学校 25%	小学校 40% 中学校 30%	学校教育 (指導室)
	「自分には、よいところがある」と答えた児童・生徒の割合	子どもたちの自己有用感が培われているかを示すため	小学校 70.5% 中学校 61.8% (21年度)	小学校 72.5% 中学校 56.8% (22年度)	小学校 75% 中学校 65%	小学校 80% 中学校 70%	学校教育 (指導室)
VI	なかの生涯学習大学(平成21年度より実施)卒業後1年以内に地域活動に参加したことがある人の割合	区民の学習活動が、地域での活動へと展開していることを示す目安となるため	56% (21年度)	70% (24年度)	64%	74%	学習 スポーツ
	1回30分以上の連続した運動を週1~2回以上行っている人の割合	区民の運動をする度合いを示すため	49.2% (20年度)	51.0% (24年度)	55%	60%	福祉推進
	区民一人当たりの年間資料貸出冊数(冊)	区民の図書館活用状況を示す指標となるため	6.8冊 (21年度)	6.3冊 (24年度)	6.8冊	7.3冊	知的資産

VII	文化施設の利用者数	区民が文化芸術に親しみ、活動をしていることを示すため	1,267,374人 (21年度)	1,275,416人 (24年度)	1,299,000人	1,330,000人	学習 スポーツ
	歴史民俗資料館年間入館者数	区の歴史民俗や文化財が区民に認識され、親しまれるための取組の成果を示すひとつの目安となるため	31,576人 (21年度)	36,919人 (24年度)	37,000人	40,000人	学習 スポーツ
VIII	教育委員会ホームページアクセス数	教育行政への区民の関心度とともに、区民に開かれた教育行政が行われているかを示すため	63,400件 (21年度)	45,798件 (24年度)	80,000件	85,000件	子ども教育 経営
	学校施設整備・維持等に対する保護者の満足度	快適な教育環境が整えられているかを示すため	小学校 83.2% 中学校 77.9% (21年度)	小学校 81.7% 中学校 79.9% (24年度)	小学校 90% 中学校 87%	小学校 90% 中学校 87%	子ども教育 施設

※「中野区学力にかかわる調査」の学力調査項目(全84項目)のうち、7割以上の児童・生徒が目標値を達成した項目の割合